

### ■EU：EUのエネルギー消費量、1990年を下回る水準で推移

欧州統計局（Eurostat）は2017年2月20日、EU加盟28カ国の2015年エネルギー消費量は16億2,600万石油換算トンであり、1990年比で2.5%低く、過去最高であった2006年との比較では11.6%低い水準にあると発表した。この低下は、経済活動の低迷、建物の断熱性向上、省エネ家電の普及などによるものと考えられる。また、エネルギー消費量に占める化石燃料の割合については、1990年の83%から徐々に低下しているものの、2015年では73%を占め、国別で見るとスウェーデン（30%）、フィンランド（46%）、フランス（49%）を除く25カ国で50%以上の割合を占めた。化石燃料の輸入依存度については、EU加盟国全体で1990年53%から2015年73%に上昇し、特に、北海油田の生産量が落ち込んだ英国では1990年2%から2015年43%に大きく上昇した。